

「宝塚大会議」について

宝塚市×SDGs

宝塚市は、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



「宝塚大会議」とは

- ・ 市の包括連携協定締結先（16企業・1団体・6大学）が一堂に会して協働・共創 ※緩やかなプラットフォーム
- ・ 企業や大学が持つノウハウや知見などを生かして、SDG s 達成に向けた取組や新たな価値を共創することにより人口構造の変化に適応したまちづくりを目指します
- ・ SDG s の17のゴールのうち、市と皆さまで取り上げるべき分野を設定し、それに沿った様々な取組を実施します

宝塚大会議の流れ

① 宝塚大会議で地域課題に関する意見交換
と取組案の検討



② 取組案に参画したい法人・市で
実施に向けて個別に協議



③ 取組実施



④ 宝塚大会議で全体にフィードバック
(意見交換、新たな参画法人募集)



宝塚大会議への想い

- ・連携するからできることに挑戦します。
- ・市と包括連携先との連携に留まらず、包括連携先同士の連携が生まれる場にしたいと考えています。
- ・市民がどのように幸せになるかという視点を忘れずに意見交換をしていきましょう。

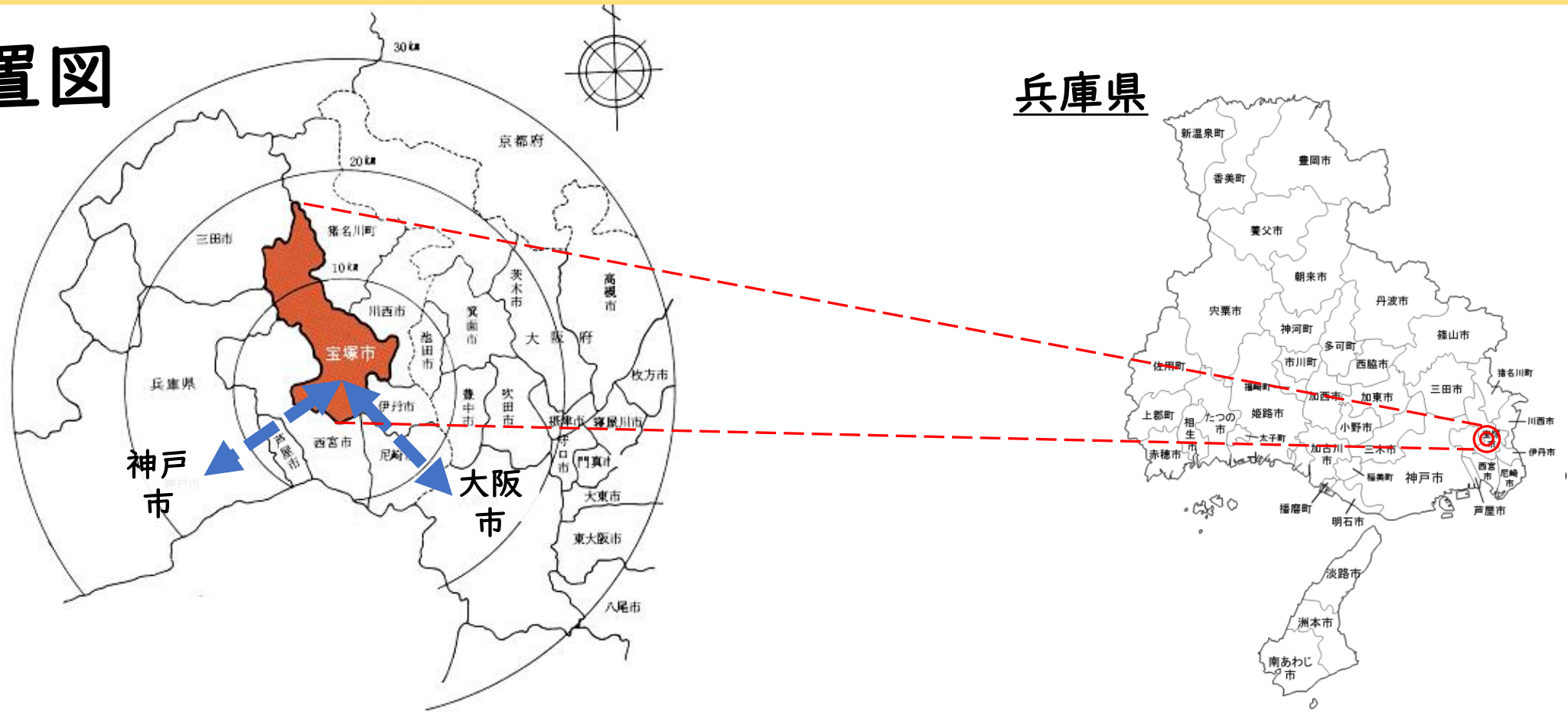


参考資料



宝塚市の立地

位置図



- ・市内には、JR、阪急の駅が計13あり、大阪・神戸へ電車で30分でアクセス可能。
- ・高速道路は中国自動車道、新名神高速道路の2路線があり、各方面のアクセスが良好。

豊富な観光資源、自然環境

観光地点（施設等）	入込客数
寺社 （清荒神清澄寺・中山寺他）	340
宝塚大劇場（宝塚歌劇）	93
文化・芸術施設 （センター・ホール・手塚治虫記念他）	103
園芸振興施設 （あいあいパーク他）	74
温泉（宝塚温泉・武田尾温泉・ ナチュラルスパ他）	28
その他（宝塚北サービスエリア・ゴルフ 場・イベント他）	377
合 計	1,015



これまでにない人口構造に…

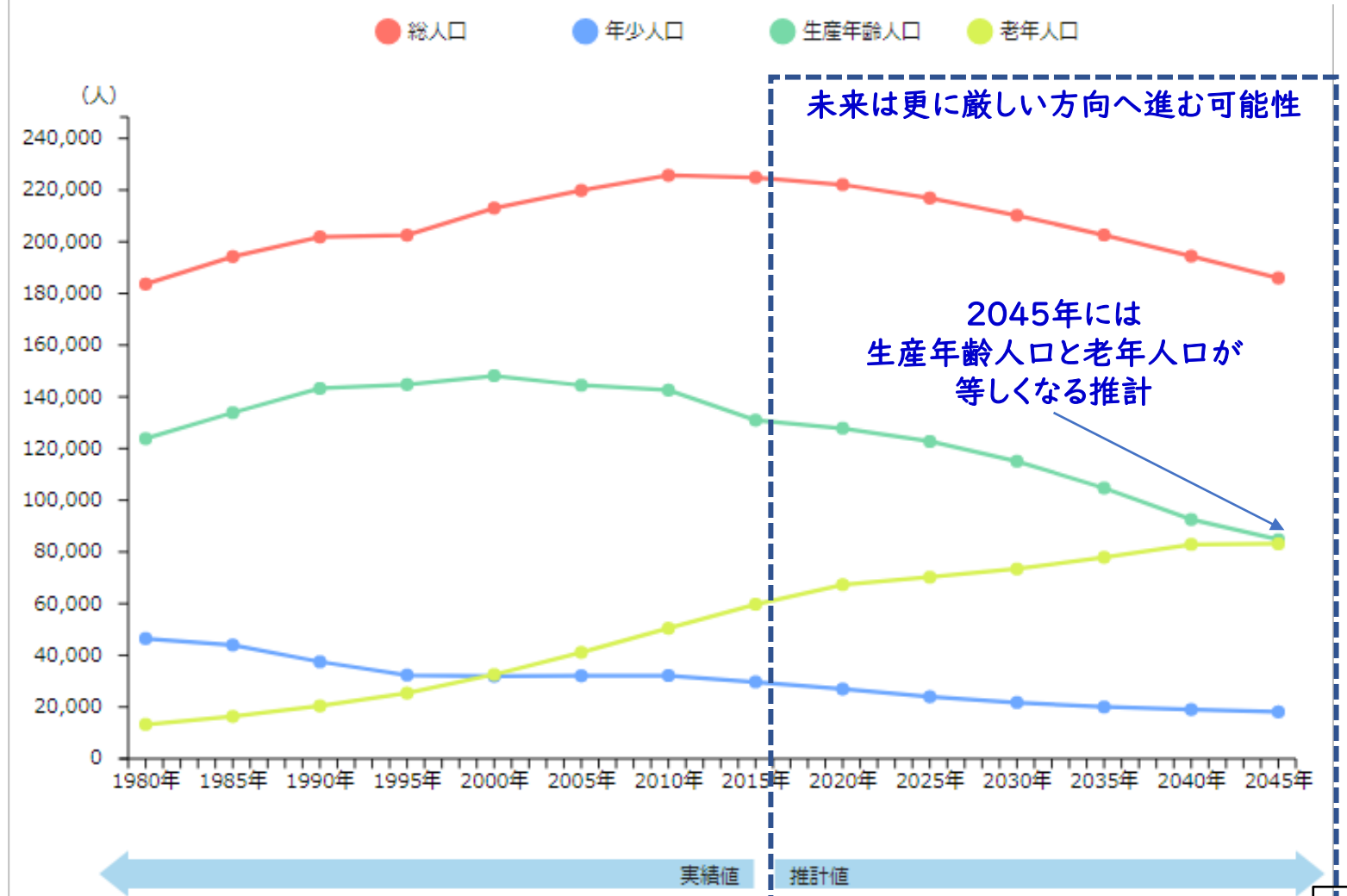
これまでは人口増加や
それに伴う発展が期待できたが…

- ◆人口減少
- ◆少子高齢化
- ◆労働人口の減少

税収の減
社会保障費の増…

2040年問題

宝塚市における将来人口推計



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(平成30年3月公表)に基づく推計値

10年後、20年後に宝塚市が抱える問題（総合計画より）

市民自治・協働	行財政経営	福祉、安全・都市基盤	子ども・教育	観光・産業
・人と人との関係の希薄化・高齢化 →地域コミュニティ・市民活動団体の担い手不足が進行 →地域の活力の低下	・高齢化率は、国・県平均より高い水準で上昇 →人口減少・少子高齢化の更なる進行（人口構成の変化） →社会構造の急激な変化・需要と供給の不均衡 →税収の減少・社会保障費の増加・公共施設の老朽化	・介護ニーズの増加・支える人材不足 ・単身世帯高齢者・移動手段の確保が必要な高齢者の増加 ・空き家の増加 →防犯・防災上の問題が増加 ・災害や感染症発生のリスク（南海トラフ地震・風水害への備え）	・保育ニーズの増加（共働き世帯の増） →子育て環境・就労環境が充実しない場合、少子化の更なる進行・人口減少（流出） ・国際化・技術革新の進行 →教育環境の整備が進まない場合、将来を担う人材育成ができない	・若者や女性、高齢者などの就労が進まない場合 →社会経済を支える担い手不足 ・豊富な観光資源（地域資源）の活用や起業・創業への支援が進まない場合 →地域内経済が循環しない・まち全体の活力が低下 ・西谷地域の農業など産業の衰退 →集落維持が困難

総合計画のスローガン～まちづくりを市民と行政が共に進めるにあたって～

スローガンと3つの重要なまちづくりの視点

このまちをより良くしていくための取組がまちづくりです。
これからのまちづくりを市民と行政が共に進めるに当たり、
「わたしの舞台は たからづか」をスローガンに掲げます。
また、スローガンに込められた3つの想いの実現に向けて、
3つの重要なまちづくりの視点を定めます。



第6次宝塚市総合計画（2021～2030）

具体的取組は、
「第2期夢・未来たからづか
創生総合戦略」に記載

重点方針

〔1〕

市民の力が発揮されるまちづくり

〔2〕

時代にふさわしい行財政経営

〔3〕

心がつながり、健康と
安心を実感できる
まちづくり

〔4〕

子どもがいきいきと
育ち、子育て世代に
選ばれるまちづくり

〔5〕

活力あふれる、
創造性豊かな
まちづくり

第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略

施策体系



目指すべき宝塚市の将来の方向

★人口減少の緩和

- ・出生率の向上
- ・ファミリー世代の転入促進

★人口構造の変化に適応した持続可能なまちづくり

人口減少や少子高齢化が進行すると、税収の減少が想定される一方で、社会保障関連費用の増加が見込まれ、財政状況は厳しさを増していくことが予想されます。

経営資源が限られていくことで、市民サービスの維持が困難となるおそれがあります。

子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり

総合戦略に位置付けている重要取組

- ・妊産婦や子ども、家庭への切れ目のない支援の実施
- ・子どもに関する情報の発信
- ・放課後児童健全育成事業の低学年の待機児童解消
- ・未来を切り開いていくための確かな学力の定着
- ・地域ニーズに合った公園整備の推進
- ・温室効果ガス排出量の削減

市で行っていること

乳幼児・子ども医療費助成の拡充
(所得制限撤廃、高校生等の入院医療費を助成対象に)

移住支援金
(東京圏一極集中
の緩和)

パークマネジメント計画の策定

あのね(子ども家庭
支援センター)

夏期臨時放課後
児童クラブの開設

こどもまんなか
応援サポーター宣言

自校炊飯による給食

コミュニティスクール
の推進

子ども議会

演劇を取り入れた授業
(自己表現力の向上)

GIGAスクールの推進

心がつながり、健康と安心を実感できるまちづくり

総合戦略に位置付けている重要取組

- ・介護予防の推進
- ・包括的な健康増進の仕組みづくり
- ・公共交通ネットワークの見直し
- ・多様な居場所・拠点づくり
- ・身近な地域で支え合う仕組みづくりの推進
- ・地域ごとのまちづくり計画の実現に向けた取組の推進

市で行っていること

エイジフレンドリーシティ

新しい交通の導入検討（AIオンデマンド交通等）

健康・生きがい就労トライアル

健診受診の啓発

スポーツの推進

（スポーツセンターでのイベント等）

社会教育の推進
（公民館での講座等）

たから・まご手帳

国際交流協会等での
外国人生活支援

通いの場（いきいき百歳体操、ふれあいいきいきサロンなど）

活力あふれる創造性豊かなまちづくり

総合戦略に位置付けている重要取組

- ・モノ・コト・バ宝塚による情報発信の充実
- ・観光情報の積極的な発信
- ・文化芸術に関する効果的な情報発信
- ・北部地域の公共交通ネットワークの見直し

市で行っていること

手塚治虫記念館
での企画展示

観光コンテンツ開発

市制70周年記念事業

モノ・コト・バ宝塚
による情報発信

西谷地区まちづくり協議会の移住・定住の取組の支援

文化・芸術センターでの各種催し

商店街活性化支援

空き店舗活用支援

宝塚フェスタ、だんじりパレード、
植木まつり開催支援